

埼玉県生協連メールマガジン Information

2020.9 発行

2020 年度 4 月より、埼玉県生協連および会員生協の取り組みと
埼玉県生協連の月度のまとめを、月 1 回 PDF 配信しています。
ぜひご覧ください。

目次：埼玉県生協連 8 月度まとめと今後の課題

P1-7

埼玉県生協連 8 月度まとめと今後の課題

2020 年 9 月 10 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 第 1 回活動委員会・医療生協さいたまへのメッセージと物資支援贈呈式

8 月 27 日(木)、第 1 回活動委員会を医療生協さいたまのふれあい会館第 3 会議室を会場に開催し、各生協の新型コロナウイルス感染防止の中での組合員活動、機関運営の進め方の報告・交流、埼玉県生協連の 9 月から 12 月にかけて実施する取り組みについての報告などを行いました。なお、活動委員会に先立ち、埼玉県生協連が行った医療生協さいたまへの物資支援と、会員生協からのメッセージの贈呈式を行いました(別紙 1 参照)。

(2) 第 1 回組合員学習会

8 月 28 日(金)、Zoom によるオンライン学習会を開催、130 人が参加しました。「SDGs の国内展開とプラスチック問題」と題して、国立環境研究所の田崎智宏さんに、プラスチック問題の解きほぐしかたについてわかりやすくお話しいただきました。参加者から多くの質問が寄せられ、それに対しても丁寧にお答えいただき、プラスチック問題の共通認識と理解が広がりました(別紙 2 参照)。

(3) 第 1 回災害対策委員会

8 月 26 日(水)、第 1 回災害対策委員会を開催しました。今回は、埼玉県災害対策課の方に講師をお願いし「埼玉県におけるコロナ禍での災害対策の最新情報」をテーマに学びました。また、令和 2 年 7 月豪雨に対しての各生協の取り組みについて共有しました(別紙 3 参照)。

(4) 広報・コミュニケーション

写真ニュース秋号(10 月 10 日発行)作成準備を行い、会員生協に原稿を依頼しました。埼玉消団連ホームページのプチリニューアルを準備しました。

2. 分野の取り組み状況

(1) 8 月 4 日(火)～8 日(土)にオンラインで開催された日本生協連主催「ピースアクションヒロシマ・ナガサキ」に埼玉県生協連から 4 人が参加しました。

(2) 8 月 19 日、第 56 回埼玉県消費者大会第 5 回実行委員会を実開催し、会場を埼玉会館大ホールからラウンジに、実参加は実行委員会団体のみで開催し、YouTube 配信することを確認しました。チラシや、冊子資料・DVD 配布についても考え方などを確認しました。

(3) 高齢者等見守り促進事業では、消費者安全確保地域協議会が 8 月 11 日に川越市で設置され、設置自治体は 23 市町となりました。

消費者被害防止サポーター活動推進事業は、消費者被害防止サポーターを対象にしたフォローアップ研修を 4 カ所で実施する予定です。8 月 30 日現在、定員 178 人のところ申込み 139 人の応募となっています。研修時の講義テーマは「最新の消費者被害を知ろう～新形コロナウイルス関連も含めて～」です。

インターネット適正広告推進事業の景品表示法講座では、11 月 19 日に県立蓮田松韻高校での開催が決まりました。テーマは「(仮題) SNS がきっかけで～まさか自分が被害者になるなんて～」で、高校 1 年生約 190 名を対象に寸劇を交えながら、弁護士を講師として講義を行います。

(4) 埼玉消費者被害をなくす会による消費者被害回復の取り組みでは、給与ファクタリング事業者「株式会社 ZERUTA」に対しての共通義務確認訴訟が 9 月 4 日に行われる予定でしたが、当該事業者が訴状の送達できていないため、延期となりました。また、

株式会社 DeNA の第 1 回控訴審が 7 月 30 日に行われ、第 2 回控訴審が、9 月 10 日に行われます。

差止請求訴訟差止請求 0 件(累計 2 件)、申入れ 3 件(累計 5 件)、お問合せ対応は 1 件(累計 14 件)、被害回復の取り組みは、訴訟 0 件(累計 1 件)、申入れ 0 件(累計 0 件)、お問合せ 1 件(累計 5 件) です

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 埼玉県建築安全課より、埼玉県宅地建物取引業審議会の審議委員の推薦依頼が埼玉県生協連にあり、さいたま住宅生協の内田典子さんを審議委員に推薦しました。
- ② 埼玉県農林部より、埼玉県農林水産業振興基本計画策定に係る懇話会委員の推薦依頼が埼玉消団連にあり、幹事から委員を推薦しました。
- ③ 埼玉県農林部より「埼玉県エコ農業推進戦略改定に係る意見交換」について埼玉消団連に依頼があり、9 月度幹事会で実施します。

(2) 埼玉消団連

- ① 8 月度消団連幹事会を実開催し、第 56 回埼玉県消費者大会について、県内消費者団体全体研修会のすすめ方、埼玉県農林部からの依頼などについて話し合い、確認しました。また、全国消費者大会の実行委員団体として登録しました。
- ② 市町村における消費生活関連事業調査は締め切りの 8 月 20 日までに 51 自治体から回答を受領しました。未提出自治体に再度提出を依頼します。

(3) 諸団体

- ① 埼玉県立大学が呼びかける「地域包括ケアシステムを推進するためのネットワーク会議」コアミーティングおよび川口分科会（オンライン会議）に参加しています。テーマは子どもの食の支援で、コープみらい、医療生協さいたま、パルシステム埼玉、フードバンク埼玉とともに参加しています。
- ② 8 月 20 日(金)、埼玉エコ・リサイクル運営委員会にオンライン参加し、2 月 6 日(土)に開催を予定しているエコ・リサイクル交流集会 2021 の企画などについて話し合いました。

4. 今後の課題

- ・ 機関運営や各企画については、コロナ感染の状況に応じて、引き続きオンライン活用など、新しい生活様式に対応した開催を進めます。なお、賀詞交換会の実施の判断については、9 月中に行います。
- ・ 上半期の決算状況をもとに、2020 年度の見通しを作成します。
- ・ 会員生協の新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響を把握し、会費減額などを含めた支援策を検討します。
- ・ 9 月 19 日消費者力アップ学習会 vol1 の開催に向けた準備を進めます。今回は、実参加とオンライン参加を併用した方式で実施します。
- ・ 写真ニュース秋号（10 月 10 日発行）を制作します。
- ・ 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会で、慰霊式のふりかえりを行うとともに、次年度に向けて、式典と市民集会を融合させた慰霊式のあり方を検討します。
- ・ ヒバクシャ国際署名の最終集約の準備を進めるとともに、ヒバクシャ国際署名終了後の核兵器廃絶に向けた取り組みの進め方を検討します。
- ・ 10 月 30 日開催の関東農政局との意見交換会の企画の具体化と参加のよびかけと確認を進めます。
- ・ 第 56 回埼玉県消費者大会の広報、冊子の作成、当日の準備をすすめます。
- ・ 第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉消団連による「市町村における消費生活

関連事業調査」を集計、分析します。

【現在、開催を予定している会議など】

※ただし、三密（密閉・密集・密接）状態の回避のための措置を条件とし、参加人数制限や、直前での中止判断有。

	名称・会場・定員	開催日	対応
1	第 56 回埼玉県消費者大会・第 6 回 実行委員会	9 月 15 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分	【実参加・オンライン併用】 市民会館うらわ 705・706
2	助け合い活動交流会	9 月 18 日 (金) 10 時 30 分～12 時 30 分	【実参加】 埼玉会館ラウンジ
3	埼玉消費者被害をなくす会 消費者力アップ学習会	9 月 19 日 (土) 10 時 00 分～12 時 00 分	【実参加・オンライン併用】 浦和コミュニティセンター第 15 集会室
4	第 56 回埼玉県消費者大会	10 月 16 日 (金) 10 時 30 分～12 時 30 分	【オンライン(ライブ配信)】 埼玉会館ラウンジ (実行委員会メンバーのみ実参加) YouTube Live で配信→ どなたでも視聴できます。
5	関東農政局との意見交換会	10 月 30 日 (金) 13 時 30 分～16 時 00 分	【実参加】 さいたま新都心合同庁舎 2 号館 11 階防災対策室 1, 2

医療生協さいたまへの応援メッセージと物資支援の贈呈式報告

2020 年 8 月 27 日 埼玉県生協連

日時	2020 年 8 月 27 日（木）13 時 30 分～13 時 40 分
会場	医療生協さいたま ふれあい会館

8 月 27 日（木）、医療生協さいたまふれあい会館にて、医療生協さいたまへの応援メッセージと物資支援の贈呈式を行いました。贈呈式には、医療生協さいたまから、雪田理事長をはじめ職員の皆さんが参加、埼玉県生協連からは吉川会長理事をはじめ、活動委員会メンバーが参加しました。贈呈を受けて雪田理事長からは「医療資材は引き続き不安定な供給状況にあり、一部では価格の高騰もあります。いただいた物資は現場で大切に活用させていただきます。また、皆さんからのメッセージは多くの職員に見てもらえるように掲示させていただきます。なにより、協同組合の仲間から、こうして支えられていることは力になります」とのあいさつをいただきました。

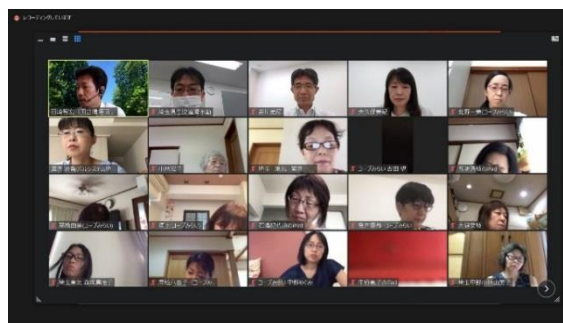
今回、贈呈した医療資材はサージカルグローブ 11 万 7,000 枚。現場では内視鏡スコープの洗浄作業などで活用されています。



2020年8月28日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) SDGsを単なる課題としてではなく、本当に達成すべき目標としてとらえ、企業も含めた社会全体の変革と一人ひとりの行動の変革につなげることが求められている中、とくに関心の高いプラスチック問題の現状と今何をすべきかについて学び、共通認識を持つことができる学習会となりました。



- (2) 日時：2020年8月28日（金）10時30分～12時30分

テーマ：SDGsの国内展開とプラスチック問題

講師：国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター

循環型社会システム研究室室長 田崎 智宏さん

参加：4生協130人



＊この学習会は2019年度第2回組合員学習会として2月28日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い直前に延期とし、その後、8月に実参加・Zoom参加可能な学習会として再企画しましたが、講演がオンラインとなり、実参加なし、Zoom参加のみに変更して開催しました。

2. 報告の内容

- (1) はじめに、吉川尚彦専務理事より、この間のプラスチック問題についての学習の経過を踏まえ、学習会の趣旨などについてあいさつしました。
- (2) 次に、講師の田崎智宏さんより、前半は「SDGsとプラスチック問題の全体像を理解する」をテーマに講演いただきました。チャットなどを使いながら、質疑応答を設け、「海岸での清掃の実態について」「人間の体内にプラスチックは残留しているのか」「劣化しないプラスチックはあるのか」などの質問が出され、田崎さんから丁寧にお答えいただきました。後半は「プラスチック問題に取り組む」として、「プラスチック問題のときほぐし」をキーワードに、私たちが今何をすべきかお話しいただきました。「Loop＊について」「プラスチックの添加物について」「環境と感染防止の両立について」などの質問があり、説明いただきました。＊従来使い捨てにされていた日用品や食品の容器やパッケージを耐久性の高いものに変えて、繰り返し利用可能にした新たな商品提供システム
- (3) 最後に、アンケートへのご協力をよびかけ、終了しました。



3. 参加者の声から

プラスチック問題を解決するのはReduce（リデュース）＊のみであることがわかりました/『多少のリサイクルや回収の取り組みで「やったつもり」にしてはいけない』という言葉にハッとしました/生協間でも連携して情報提供や学習の場をつくっていききたいと思いました ＊発生抑制を意味し、ごみとなる物を減らすことを目的としています

4. 今後に向けて

- (1) 初めてZoomでの参加を呼びかけたところ、130人と通常の2倍の参加がありました。今後の学習会のあり方、交流のしかたも検討していきます。

2020 年度第 1 回災害対策委員会開催報告

2020 年 8 月 26 日 埼玉県生協連

日時：2020 年 8 月 26 日（水）15:00～16:35 埼玉県生協連コミュニティルーム

出席：本多達（コープデリ連合会）、岡直政（コープみらい）、堀籠克衛・石井比利（パルシステム埼玉）、後藤一郎（生活クラブ生協）、村田比呂嗣（労済生協）、桜井博孝（コープデリ連合会）、保土田毅（医療生協さいたま）、吉川尚彦・加藤一彦・清水勤（埼玉県生協連）

オブザーバー：宮脇和也（中央労働金庫 生協部）

下線は欠席者 敬称略

1. 「埼玉県におけるコロナ禍での災害対策の最新情報」に関する学習会

講師：埼玉県危機管理防災部 災害対策課 災害対策担当 主幹 林大輔様

コロナ禍での避難所の役割、避難基準の考え方、避難所の運営ガイドラインについて、令和元年度からの変更点を中心に説明がありました。特に、従来とは違い、健康状態に合わせた避難場所や自宅療養者（コロナ）の対応、また、避難所の収容人数には限界があることから、自宅で 1 週間程度避難できるように備蓄をしておく必要性などを学びました。



2. 協議事項

(1) 埼玉県生協連災害対策委員会／委員長の理事会推薦について

生協連吉川会長理事より、災害対策委員会の目的と 2020 年度災害対策委員長の選任報告がありました。

(2) 第 41 回九都県市合同防災訓練埼玉県会場／11 月 1 日（日）・SKIP シティ（川口市）

第 41 回九都県市合同防災訓練は、新型コロナウイルスの影響で午前みの縮小開催になるため、毎年防災フェアに参加していたが今年の参加はないことを確認しました。また、午前の参加人数に制限がない場合には、生協連が各生協に参加者希望をつのることとなりました。

(3) MCA 無線訓練について（連絡順番の変更提案）

2020 年 8 月時点で、MCA 無線訓練の連絡する順番が 1 年たつこともあり、通信状況を確認する意味で、10 月からの順番を変更することで確認しました。

10 月以降：生協連→労済生協→コープみらい→生活クラブ→コープデリ連合会→パルシステム→生協連

3. 令和 2 年 7 月豪雨に対しての取り組み予定・報告（各生協からの報告 3 分×6 生協）

新型コロナウイルスの影響でボランティアを派遣できないこともあり、多くの生協が募金を中心とした活動という報告でした。その中で、労済生協は共済金の給付、中央労金は貸出金の取り組みについての報告でした。

4. その他（2020 年度開催日について）

第 2 回の日程については当初予定日を変更し、調整することとしました。2 回目のテーマは生協連の災害対策書の見直し案の検討とし、各会員生協の対策書について事前に情報提供いただいたうえ、協議することとしました。

2020 年度 埼玉県生協連 日誌と予定

2020 年 8 月	
3	中央地連 M C A 無線訓練(清水勤)
4	第 11 回彩の国「新しい生活様式」評議会【書面】(吉川) ピースアクションヒロシマ・ナガサキ【オンライン】(吉川・清水桂・清水勤・加藤)
7	埼玉県消費者団体連絡会 8 月度幹事会(吉川・大久保・清水桂) LP ガスの取引透明化問題に関する学習会【オンライン】(清水桂) 埼玉県立大学コアミーティング【オンライン】(清水桂)
12	ヒバクシャ国際署名のあゆみと、これから【オンライン】(加藤)
18	情報銀行の仕組みと課題学習会【オンライン】(吉川・清水桂)
19	第 56 回埼玉県消費者大会第 5 回実行委員会(吉川・大久保・清水桂)
20	埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会【オンライン】(清水桂)
21	全国消団連第 2 回理事会【オンライン】(吉川) 埼玉消費者被害をなくす会 8 月検討委員会【オンライン併用】(吉川・清水勤・田中) 埼玉県労働者福祉協議会第 5 回理事会(吉川)
26	第 1 回災害対策委員会(吉川・清水勤・加藤)
27	第 1 回活動委員会(吉川・大久保・清水桂・加藤) 医療生協さいたまへの応援メッセージ・医療物資贈呈式(吉川・大久保・清水桂・加藤)
28	埼玉県委託事業 第 1 回組合員学習会【オンライン】(吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤)
2020 年 9 月	
1	埼玉県労働者福祉協議会第 2 回企画委員会 中央労働者福祉協議会全国研修会
2	埼玉県委託事業 会員生協監事研修・交流会
3	第 2 回常務理事会 南関東地方 LP ガス懇談会【オンライン】 埼玉県立大学コアミーティング(川口)【オンライン】
4	第 12 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) 埼玉県立大学コアミーティング【オンライン】
5	第 28 回適格消費者団体連絡協議会【オンライン】
7	埼玉県委託事業県内消費者団体全体研修会
8	第 2 回監事会 埼玉県消費者団体連絡会 9 月度幹事会 埼玉県工口農業推進戦略に係る意見交換会
9	埼玉平和市民 5 団体懇談会 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会
10	埼玉県環境審議会 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回活動委員会
14	埼玉母親大会常任委員会
15	第 56 回埼玉県消費者大会第 6 回実行委員会
17	第 3 回理事会
18	埼玉県委託事業 助け合い活動交流会 立憲民主・国民民主 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリング 無所属県民会議 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリング
19	埼玉消費者被害をなくす会第 1 回消費者力アップ学習会【オンライン併用】
23	中央地連第 2 回運営委員会 第 2 回県連活動推進会議
29	埼玉消費者被害をなくす会第 2 回理事会【オンライン併用】 埼玉消費者被害をなくす会 9 月検討委員会【オンライン併用】